

公表:令和 8年 3月 30日

事業所名 重症心身障がい児向け 児童発達支援・放課後等デイサービス くまげら

		チェック項目	■ はい ■ いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	・すべてバリアフリー、マットスペース、バギーでのスペースに分かれて活動しやすい環境を整えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	・清潔と整理整頓を心掛け、感染対策にも力を入れている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	・個室はないが、カーテンで仕切るなどの工夫をしている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	・管理職を中心に業務改善について話し合いを行うことが多い。 ・週1回実施している会議などで検討している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	・いただいた意見を受け止め、必要時は業務改善につながるよう話し合いを行っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	・年2回の面談や日々の会議の中での意見を取り入れるようにしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2 4	・第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	法人内や事業所内で計画的に研修を行っている。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	HPで公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	定期的な面談を行い、計画書を作成している。

へ 援 の 提 供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	・常にすべてのスタッフが計画書作成のプロセスに関わっている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5 1	・重心児デイサービスのため、ツールは使用していないが、日々の様子や記録からアセスメントを行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3 3	・今はチームで行えていない。 ・現在療育部門のスタッフが1名のため行えていないが、今後はチームで行っていく予定。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5 1	・終了後に実施できないことも多いため、次の日の朝や週一回の会議でおこなっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	・半年ごともしくは状態に変化があったときに行っている。	
	関 係 機 関 や 保	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	
		25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		

護者との連携関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	・なかなかスーパーバイズを受ける機会がないが、必要に応じて設けていきたい。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		・なかなか機会がなく行えていない。 ・イベントなどで機会を作っていきたい。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・研修などは行っていないが、常に保護者とコミュニケーションを図り、必要な上限等を行えるように心掛けている。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	・行っていない。 ・父母の会やきょうだい同士の交流の機会は設けることができていないが、今後企画していきたい。
保護者への説明責任等	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		

	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0 6	・地域住民を招待する規模での行事は行っていない。 ・今後企画していきたい。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	
非常時等の対応	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	・指針を作成している。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 8年 3月 30日

重症心身障がい児向け 児童発達支援・放課後等デイサービス  
くまげら

保護者等数(児童数) 3 回収数 2 割合 67%

		チェック項目	■ はい ■ いいえ ■ どちらともいえない ■ わからない	ご意見
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		
	6	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。		
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	
非常時の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1 1	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	・過ごし方や子どもの反応など、細かく連絡ノートに記入いただいているのがとてもうれしいです。→ありがとうございます。くまげらで楽しんでいること、様子などを今後もお伝えしていけたらと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表:令和 8年 3月 30日

事業所名 重症心身障がい児向け 児童発達支援・放課後等デイサービス くまげら

		チェック項目	■はい ■いいえ	意見
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	・すべてバリアフリー、マットスペース、パギーでのスペースに分かれて活動しやすい環境を整えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	・清潔と整理整頓を心掛け、感染対策にも力を入れている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	・個室はないが、カーテンで仕切るなどの工夫をしている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5 1	・広く参画しているかはわからないが、業務改善は行っている。 ・管理職を中心に業務改善について話し合いを行うことが多い。 ・週1回実施している会議などで検討している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	・いただいた意見を受け止め、必要時は業務改善につながるよう話し合いを行っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	・年2回の面談や日々の会議の中での意見を取り入れるようにしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	・第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5 1	法人内や事業所内で計画的に研修を行っている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	HPで公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	定期的な面談を行い、計画書を作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	・常にすべてのスタッフが計画書作成のプロセスに関わっている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	・重心児デイサービスのため、ツールは使用していないが、日々の様子や記録からアセスメントを行っている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3 3	・今はチームで行えていない。 ・現在療育部門のスタッフが1名のため行えていないが、今後はチームで行っていく予定。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5 1	・終了後に実施できないことも多いため、次の日の朝や週一回の会議でおこなっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	・半年ごともしくは状態に変化があったときに行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	・選択肢の中から自分で決める機会を多く持つように日々の活動を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	・送迎時に行い、必要であればそのほかに連絡したり支援者会議などで情報共有等行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	基本的には保護者を通して行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	

携関係機関や保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		機会がなかなかないが必要であれば設けたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		・今のところ実施できていない。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		・時間の関係上なかなか参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		・研修はできていないが、個別に家族支援を行っている。
保護者への説明責任等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		・父母会はいまのところない。 ・父母会などは開くことができていない。イベントを通して交流していけるよう企画していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		・事業所の規模的に招待するのが難しい。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			

非常時等の対応	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人用のバギーのベルト使用等は計画書に記載している。</li> <li>・指針を作成している。</li> </ul>

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 8年 3月 30日

重症心身障がい児向け 児童発達支援・放課後等デイサービス  
くまげら

保護者等数(児童数) 14 回収数 10 割合 71%

		チェック項目	■ はい ■ いいえ ■ どちらともいえない ■ わからない	ご意見
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9 (はい) 1 (どちらともいえない)	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8 (はい) 2 (わからない)	・利用時の職員の数までは見ていないのでわかりかねます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10 (はい)	・とてもきれいにされていて、清潔感があります。→ありがとうございます。清潔な環境を維持できるようにしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9 (はい) 1 (わからない)	・とてもきれいにされていて、清潔感があります。→ありがとうございます。清潔な環境を維持できるようにしていきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10 (はい)	・PT、STの先生に対応していただいて、摂食や体幹が少しづつしっかりするなど成長を感じることができました。→ありがとうございます。今後も、セラピーを実施し成長を促していけたらと思っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10 (はい)	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	10 (はい)	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8 (はい) 2 (わからない)	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9 (はい) 1 (どちらともいえない)	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8 (はい) 2 (どちらともいえない)	・シール帳作りの取り組みで、子どもの趣味の幅が広がり、今の年頃ならではの思い出になり、趣味の幅が広がりました。ありがとうございました！ →興味が広がったとのこと、うれしいです。これからも様々な活動を計画していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1 (はい) 1 (どちらともいえない) 4 (わからない) 5 (いいえ)	
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10 (はい)		
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10 (はい)		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。		
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。		・スタッフの皆さんをとて信頼しています。 →ありがとうございます。これからも、ひとりひとりのみなさんのことをしっかりと理解できるように関わり、より信頼してもらえるように努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。		・通所日は楽しそうに、今日の予定を確認しています。 ・とても楽しそうに通所しています。ありがとうございます。 →ありがとうございます。これからも楽しんで過ごしてもらおう工夫していきます。

29	事業所の支援に満足していますか。	10	<p>・家庭の都合で柔軟に対応していただけてとても助かりました。本当にありがとうございました。</p> <p>→ご家庭の都合など、対応可能なことがありましたら調整させていただきます。いつでもご相談ください。</p>
----	------------------	----	---

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障がい児向け 児童発達支援・放課後等デイサービス くまげら		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 6日		2026年 3月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	8年 3月 6日		2026年 3月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して楽しく通所することができている。	看護師、セラピストなどの医療職を多く配置しており、医療的ケアが多い方でも安心して活動に参加できる。	子どもたちの様子など、スタッフ間での情報共有を強化し支援の方針を細かく設定、確認できるようにして活動や携わるスタッフが固定されないようチームで活動を行っていく。
2	季節や流行を取り入れた活動を提供している。	季節を感じられる活動や行事、流行を取り入れた活動を通じて、子供たちの経験や興味の幅を広げていく。	定期的に物品の整理や物の配置を検討し、より子供たちが過ごしやすい空間となるよう工夫していく。
3	事業所内が清潔で整理整頓されている。	開所前、開所後に必ず清掃・食毒を行い、事業所内での必須研修として、感染対策研修を行っている。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が行われていない	事業所の規模が小さく、事業所主体でのイベントの開催が難しい。	まずは小さな規模から始めてみる、知己の保育園や支援窓口との交流の機会を設けるなど検討していく。
2	父母会が開催されていない。	父母会開催等の希望がなく、開催に至っていない。	今後、要望が増えた場合は開催を検討する。
3	マニュアルや対策が策定され、研修等も行っているが、保護者への周知がされていない。	事業所で行った研修やマニュアル等を作成後に保護者への周知が不足していた。	研修、訓練を行った際にはその様子を記録するとともに通信やHPを用いて保護者へ周知する。